

## 介護福祉士教育における介護過程の展開とレクリエーション支援の関連（第3報）

○南條正人〔東北文教大学短期大学部〕 高崎義輝〔仙台大学〕 小池和幸〔仙台大学〕  
 金須雄一〔東北文教大学短期大学部〕 森田清美〔東北文化学園大学〕  
 小田幹雄〔東北文化学園専門学校〕 片山昭義〔浦和大学〕

キーワード：介護福祉士教育、介護過程の展開、レクリエーション支援

## I. はじめに

## I-1. はじめに

2007年の社会福祉士及び介護福祉士法の改正において介護福祉士の定義規定の見直しが行われ、介護福祉士は「身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護等」となった。また、2009年の介護福祉士養成カリキュラムの改定において、介護に関する科目の充実が図られ時間数も拡充された。その1つに「コミュニケーション技術」という科目設定が行われ、介護を展開する上で必要不可欠なコミュニケーションスキルを向上させるための教育が重要視された。これらにより、旧カリキュラムの科目にあった「レクリエーション活動援助法」は、新カリキュラムで新たな科目の一部に組み込まれ、「レクリエーション」という名の付く科目が削除された。

しかし、渡辺<sup>1)</sup>は、生活を支援することは「その人の幸福追求への支援も含まれていなければならない、よりよく生きるための支援」と述べている。一般的に、加齢によって睡眠時間等の生理的に必要な活動や余暇等の活動時間が増加すると考えられることから、「よりよく生きる」ための余暇の活動時間に関する支援が重要であるとの見解である。

本研究では、介護福祉士教育における介護過程の展開において、レクリエーション支援がどの程度活用されているかを調査し、介護福祉士教育におけるレクリエーション支援の学習の必要性を検討した。

## I-2. 介護実習における介護過程の展開

厚生労働省のカリキュラムにおける介護過程のねらいは、「他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切なサービスの提供が出来る能力を養う学習とする」である。このことから、介護過程の授業を担当する教員だけではなく、他の科目を担当する教員間の連携と各段階における介護実習のコンセンサスが必要不可欠である。

そのコンセンサスを得た介護実習は、介護福祉士養成課程における履修科目の中で大きなウエイトを占めている。多くの介護福祉士養成校においては、介護実習を数段階に分けて実施し、最終の介護実習では、利用者1名を担当させていただき、客観的で科学的なエビデンスに基づいた介護過程を展開している。この介護過程の展開においては、厚生労働省が示した介護過程のねらいにあるように、他の科目で学習した知識や技術を統合して展開されることから、様々な知識や技術が用いられている。その知識や技術の1つとして、レクリエーション支援が用いられている。

### I-3. 本研究のこれまでの経過

本研究の第1報<sup>2)</sup>では、介護過程の展開において、山形県及び宮城県の介護福祉士養成4校のデータを収集(278 ケース)し、分析を試みた。その結果、6.5割程度で何かしらのレクリエーション支援が行われていたことを明らかにした。さらには、第2報<sup>3)</sup>においては、全国の介護福祉士養成12校のデータを収集(1,424 ケース)し、分析を試みた。その結果、7割程度で何かしらのレクリエーション支援が行われていたことを明らかにした。しかし、データの収集において地域に偏りが生じたことから、さらに幅広い地域のデータを収集・分析する必要があると考えられた。

本研究では、第3報として地域を限定せずに、より多くのデータを収集・分析を試みた。

## II. 研究方法

対 象 : 卒業論文集または事例報告書を冊子として発刊している日本介護福祉士養成施設協会の会員(養成校)のうち、地域7ブロック(北海道・東北・関東信越・東海北陸・近畿・中国四国・九州)それぞれ2校以上の卒業論文集または事例報告書を対象とする。

内 容 : 介護福祉士養成校における卒業論文集または事例報告書3ヶ年分  
(平成24年度～平成26年度)

方 法 : ①卒業論文集及び事例報告書を収集  
②調査シートに整理  
③卒業論文集及び事例報告書の中で、レクリエーションに関連した研究について、その傾向を検討

## III. 結果及び考察

介護福祉士教育における介護過程の展開において、レクリエーション支援は、①テーマにレクリエーション・余暇などの言葉がどの程度活用されているのか、②介護目標がどの程度レクリエーション支援に関連しているのか、③具体的なレクリエーション活動がどの程度活用されているのかについて、実態を明らかにし、学会発表時に報告する。

### 【引用文献】

- 1) 渡辺嘉久『介護福祉士の役割』: 介護福祉学研究会「介護福祉学」, 中央法規(2002)
- 2) 南條正人・高崎義輝・金須雄一・森田清美・小田幹雄(2015): 介護過程の展開とレクリエーション支援の関係性に関する考察, 自由時間研究第40号, pp.3-9
- 3) 南條正人・高崎義輝・小池和幸・仲野隆士・金須雄一・森田清美・小田幹雄・加藤昭仁・千葉佳名江・中曽根裕・齋藤友規(2016): 介護実習における介護過程の展開とレクリエーション支援の関連, 自由時間研究第41号, pp.23-28